

教科担任制に取り組んだ 成果と課題について

東広島市立川上小学校

① 授業の質の向上

☆成果

- ・教材研究を深めたり、授業準備の充実を図ったりすることで、授業力が高まった。
- ・同じ内容を複数回指導することで授業改善を行い、よりよい授業づくりにつながった。
- ・教科担任制推進教員がいることで、系統的な指導ができた。



① 授業の質の向上

★課題

- ・小学校の学級担任であれば基本的に全教科の教材研究を行い、授業を実施するが、推進教員の担当する教科の教材研究、授業を行う機会が失われる。

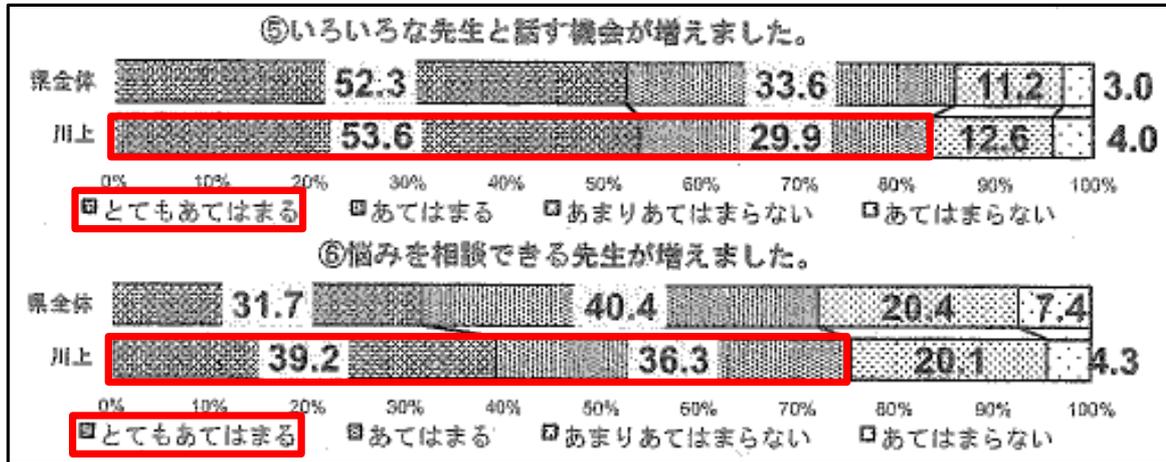
② 多面的な児童理解

☆成果

- ・複数の教員が指導に当たることにより、一人一人の児童の成長や変化について多面的に捉えることができた。
- ・配慮の必要な児童に関わる教員が担任以外に複数いることで、支援方法を共通理解して取り組むことができた。



- ・複数の教員と話す機会が増加したことで、悩みを相談する人の選択肢が増えたと感じる児童が多い。



② 多面的な児童理解

★課題

- ・様々な勤務形態の教員がいるため、児童や学級について、学年部の教員や関わりのある教員が揃って話をする時間を設けることが難しい。
→その都度時間を設けたり、個々の気づきを集約した書面で共通理解を図ったりするようにしている。
- ・年度当初の児童と教員の人間関係づくりに時間がかかる。